

はなてん
放出駅 (JR学研都市線・おおさか東線)

放出周辺の中高野街道を歩く



「大阪あそ歩マップ集」
その1 No.025 その2 No.077

JR放出駅

① 諏訪神社

全国に5000社以上ある諏訪大社の分社のひとつで、ご祭神は建御名方刀美命・八坂刀売命です。摂社の腰掛天満宮は、筑紫への左遷が決定した菅原道真が河内・道明寺在住の伯母にお別れする途中にここを訪れて腰掛けたという石を祀っており、石に触ると学業成就するといわれています。



② 阿遅速雄神社

阿遅速雄神社は、平安時代に記された『延喜式』に掲載された式内社のひとつです。境内には、大阪市内で唯一残るお蔭燈籠、天然記念物の楠があり、かつて式内社であったことが証明された社号標識も建っています。天智7年(668)に新羅僧・道行は熱田神宮から草薙の剣を盗み出しましたが、船が大嵐に遭って放出付近に漂着したため、恐れだ道行は剣を放り出して逃げました。放出の地名由来の一説です。



③ 正因寺

淀川や寝屋川改修に尽力した大橋房太郎の墓があります。墓前には房太郎が尽力した六郷井路(六郷川)修堤の碑が建っています。六郷井路の堤は何度も決壊して住民を苦しめていましたが、堤の改修工事により、住民はようやく枕を高くして眠ることができるようになりました。なお、寺の前に中高野街道顕彰碑が建っています。京都や大阪から高野山参詣の人が数多く通った道です。

④ 三保ヶ関部屋

大坂相撲で活躍した初代・三保ヶ関権右衛門から続く年寄名跡「三保ヶ関」。部屋からは第五十五代横綱・北の湖、大関・増位

山(現・三保ヶ関親方)や北天佑など錚々たる力士が誕生しています。大相撲三月場所が行われるころ、部屋所属の力士たちを見られるかもしれません。

⑤ 寝屋川改修碑

寝屋川は交野市星田を水源とし、河内から大阪市内までを東西に結ぶ重要な水路です。かつては農作物や肥料を運搬した剣先舟や、野崎参りの屋形舟が利用されました。洪水時には、濁水が氾濫して住民に危険が及んだことから、「放出の太閤さん」と称された大橋房太郎が立ち上がり、寝屋川改修を訴え続けた結果、大阪府は改修工事に着手し、昭和2年(1927)に新喜多橋~徳庵区間が竣工しました。

JR放出駅

